

立童市議会だより

2007
2.1.
No. **115**
TENDO



2007年の新春を迎え、長岡小学校の児童の皆さんは、恒例の書初めを行い、心新たに新年のスタートを切りました。

12
月
定
例
会

飲酒運転撲滅に関する決議を可決 (P 2)

団塊世代の積極的な迎え入れを 一般質問(P 4~9)

共立衛生処理組合の報告 特集 ⑥(P13)



市民が安心して暮らせる

まちづくりを推進

議長 小澤 精

明けましておめでとうございます。

市民の皆様におかれましては、新年をお健やかに迎えられましたことと、心からお喜び申し上げます。

昨年は、長年の懸案でありました、学校給食センター移転新築工事と市立天童病院の整備事業に取り組み、現在、順調に工事が進んでおります。

昨今の経済情勢は、緩やかな景気回復傾向にあるものの、今後の見通しは依然として不透明な状況にあり、国の三位一体改革において財政状況も厳しい中ではありますが、私も市議会といたしましても、市民のみなさまが安心して暮らせるまちづくりの実現のため、決意を新たにしております。

また、昨年の12月定例会の際には、飲酒運転撲滅に関する決議を全会一致で可決しました。これは最近、飲酒による運転の高い危険性が再三にわたって指摘されているにもかかわらず、全国各地でかけがえのない命が奪われる悲惨な事故が相次いでおり、市民と一体になり飲酒運転の撲滅・交通事故のない社会の実現に向け全力で取り組む強い意志を示したものであります。

今年市議会議員の改選の年でありますが、議会としましては、市政の課題解決に向けて全力を挙げて努力してまいり所存であります。

市民の皆様のご多幸とご健勝を心から御祈念申し上げますとともに、議会活動に対して相変わらぬご支援とご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。新年のごあいさついたします。

副議長	長岡	繁
議長	山口	桂子
	木村	竹虎
	森谷	仙一郎
	篠原	みゑ子
	赤塚	幸一郎
	結城	義巳
	武田	達郎
	佐藤	正男
	後藤	和信
	山崎	諭
	石垣	昭一
	小松	善雄
	伊藤	護國
	水戸	保一
	浅井	謙一
	梅津	郁弥
	片桐	和子
	伊藤	秋葉
	水戸	麗
	高麗	辺市郎
	青柳	仁士
	高橋	博
	奥山	成也

飲酒運転撲滅に関する決議（抜粋）

交通事故のない安全で安心して暮らせる社会の実現は、天童市民すべての切実な願いである。

しかしながら、交通事故の犠牲となり、悲しみや苦しみを抱えての生活を余儀なくされている市民も多い。特に最近、飲酒による運転の高い危険性が再三にわたって指摘されているにもかかわらず、全国各地でかけがえのない命が奪われる悲惨な事故が相次いでおり、こうした惨劇を繰り返さないよう、市民とともに飲酒運転を追放する決意を新たにすることが必要である。

飲酒運転撲滅のためには、運転者の交通安全意識の向上はもとより、家庭や職場、さらには地域が一体となって「飲酒運転は絶対にしない、させない、許さない」という強い意志を示すことが重要である。

よって、天童市議会は、市をはじめ関係機関・団体との連携をさらに強化し、市民と一体となって飲酒運転の撲滅と交通事故のない社会の実現に向けて全力で取り組むことを決意するとともに、我々天童市議会議員が飲酒運転を行った場合には、市議会議員の職を辞することをここに決議する。

平成18年12月21日 天童市議会

意見書

12月21日に議員提出の意見書5件が原案のとおり可決され、直ちに関係機関に送付されました。

▼健全な地方財政を堅持できる財政制度の確立についての意見書

▼リハビリテーション医療の

日数制限の撤廃を求める意見書

▼療養病床削減計画の中止を求める意見書

▼医師・看護職員確保対策の充実強化を求める意見書

▼道路特定財源の堅持に関する意見書

（提出先は、衆・参議院議長、内閣総理大臣、内閣官房長官ほか関係大臣あて）

（提出先は、衆・参議院議長、内閣総理大臣、内閣官房長官ほか関係大臣あて）

12月定例会

平成18年度第5回定例会（12月定例会）は、12月6日から21日までの16日間の会期で開かれました。

市長提出議案である報告案件3件及び人事案件2件は、初日の本会議で採決が行われました。そのほか、平成18年度天童市一般会計補正予算をはじめとする予算議案10件、一般議案13件の計23件は、予算特別委員会及び所管常任委員会に付託され、各委員会で審査された後、最終日の本会議で採決が行われました。また、議員提出案件5件、決議案1件の採決も行われました。結果は、下記のとおりです。（請願審査の結果→16ページ／意見書→2ページに掲載していません。）

審議日程

月 日	内 容
12.6	本会議（会期の決定、提案理由の説明、予算特別委員会の設置など） 予算特別委員会（予算議案概要説明）
12.11 12.12	本会議（市政に対する一般質問）
12.13	本会議（一般議案に対する総括質疑） 予算特別委員会（予算議案に対する総括質疑）
12.14 12.15	各委員会（分科会）審査
12.21	予算特別委員会（各分科会委員長報告、質疑、表決） 本会議（委員長報告、質疑、表決）

提出された議案とその結果

（市長提出議案）

議案番号	件 名	結果
報第12号	天童市手数料条例の一部を改正する条例の専決処分の承認を求めることについて	承認
報第13号	天童市立天童病院使用料及び手数料条例の一部を改正する条例の専決処分の承認を求めることについて	承認
報第14号	下水道管理上の瑕疵による事故に伴う損害賠償の額の決定についての専決処分の報告について	報告
議第28号	平成18年度天童市一般会計補正予算（第3号）	原案可決
議第29号	平成18年度天童市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	原案可決
議第30号	平成18年度天童市財産区特別会計補正予算（第2号）	原案可決
議第31号	平成18年度天童市交通災害共済事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決
議第32号	平成18年度天童市都市計画公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決
議第33号	平成18年度天童市老野森土地地区画整理事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決
議第34号	平成18年度天童市鎌ノ町土地地区画整理事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決
議第35号	平成18年度天童市介護保険特別会計補正予算（第2号）	原案可決
議第36号	平成18年度天童市水道事業会計補正予算（第2号）	原案可決
議第37号	平成18年度天童市立天童病院事業会計補正予算（第1号）	原案可決
議第38号	地方自治法の一部改正に伴う関係条例の整理に関する条例の設定について	原案可決
議第39号	天童市副市長定数条例の設定について	原案可決
議第40号	天童市行政手続等における情報通信の技術の利用に関する条例の設定について	原案可決
議第41号	天童市国民年金被保険者の死亡に関する弔慰金支給条例の廃止について	原案可決

議案番号	件 名	結果
議第42号	天童市市営バス設置及び管理に関する条例の一部改正について	原案可決
議第43号	天童市市営住宅条例の一部改正について	原案可決
議第44号	字の区域及び名称の変更について	原案可決
議第45号	市道の認定及び廃止について	原案可決
議第46号	山形広域行政協議会規約の一部変更について	原案可決
議第47号	東根市外二市一町共立衛生処理組合規約の一部変更について	原案可決
議第48号	山形県後期高齢者医療広域連合規約について	原案可決
議第49号	天童市助役の選任について	同意
議第50号	天童市情報公開・個人情報保護審査会委員の委嘱について	同意
議第51号	天童市道路占用料条例の一部改正について	原案可決
議第52号	交通事故に係る損害賠償の額の決定について	原案可決

（議員提出議案）

議案番号	件 名	結果
議会案第6号	健全な地方財政を堅持できる財政制度の確立を求める意見書の提出について	原案可決
議会案第7号	リハビリテーション医療の日数制限の撤廃を求める意見書の提出について	原案可決
議会案第8号	療養病床削減計画の中止を求める意見書の提出について	原案可決
議会案第9号	医師・看護職員確保対策の充実強化を求める意見書の提出について	原案可決
議会案第10号	道路特定財源の堅持に関する意見書の提出について	原案可決
決議案第1号	飲酒運転撲滅に関する決議の提出について	原案可決

市政に対する一般質問

市政に対する一般質問は、12月11日、12日の2日間の日程で、15人の議員が行いました。団塊の世代に対する働きかけ、いじめの実態把握や対応などについて、市長、教育長の見解を求めました。



若松寺

山寺から若松寺に至る

古道の復元を



山崎 諭議員

平成20年に若松寺1300年祭

が行われるが、これを機にかつて天台宗の修験者が歩いたと言われる山寺から雨呼山、鶴沢山を通って若松寺へ至る古道を復元し、トレッキングブームと言われる中で、自然に親しみながらそれらの歴史に触れてもらうイベントを企画してはどうか。

遠藤市長 歴史的節目を記念するため、若松観音開山1300年祭記念事業実行委員会が平成16年12月に設立され、各種事業の実施が検討されているようであり、可能な範囲で積極的に支援していきたいと考えている。

登山道については、その状況を把握するため、平成17年に地元の案内人を先導に若松寺から雨呼山まで踏査したが、一部を除き、途中急峻な

上り下りがあり、市民や観光客が気軽に登山を楽しむには困難な状況で、片道5時間ほどかかる。そこからさらに、山寺まで歩くコースは危険が伴い、最終的に観光的側面から、安全・安心な登山道とは評価しえない状況である。

まずは、市民や観光客が安全・安心に登ってもらうため、若松寺から雨呼山までの登山道の整備を行ってきたところであり、今後も計画的な整備に努めていきたい。



平成20年に開山1300年を迎える若松寺

質問者と

質問事項

(☆印は会派名)

☆政和会

奥山成也議員

*本市の小中学校のいじめの状況について

*いじめに対する学校の対策は

小松善雄議員

*森林行政について

山崎 諭議員

*経営所得安定対策等大綱に対する取り組みについて

*若松寺1300年祭について

後藤和信議員

*空き住宅並びに遊休農地の利活用について

*市営住宅の入居申請について

佐藤正男議員

*事業の将来像と意思決定過程について

結城義巳議員

*天童1中の整備構想について

*市職員の給与及び研修について

*「福祉の里」整備計画について

高橋 博議員

*団塊世代への対応について

*新年度の重要事業は

*冬期間の児童・生徒の通学路確保について

☆天新会

山口桂子議員

*本市の小中学校におけるいじめの実態把握と対応について

*健全な子供育成のためのフッ素洗口導入について

*スポーツセンターの環境整備について

武田達郎議員

*より良い新市立病院を目指して

伊藤護國議員

*本市の将来ビジョンについて

☆つばさ

森谷仙一郎議員

*心の悩みを持つ児童・生徒について

*中学校建設について

*中学校学区再編について

篠原みゑ子議員

*DV防止について

*住宅用火災報知器の設置について

赤塚幸一郎議員

*鉄ノ町土地区画整理事業の今後の事業計画について

☆日本共産党天童市議団
石垣昭一議員

*品目横断的経営安定対策の問題点と今後の対応について

*教育における競争主義と一斉学力テストについて

伊藤和子議員

*事業系ごみの減量対策について

*子どもたちの豊かな感性を育てる芸術鑑賞教室の充実を

*公園や道路の樹木の繁茂による交通障害の解消を

発生件数や内容は

どうなっているか



奥山成也議員

いじめ問題

全国的に起き

ており自殺者が発生するなど、大きな社会的問題となっている。本市の小・中学校のいじめの発生件数や具体的内容はどうなっているか。また、それを踏まえ、各学校でどの

ような対策を行っているか。

酒井教育長

平成18年8月か

ら10月末までに、市内全小中学校を対象に行った児童生徒のいじめ実態調査によると、報告されたいじめ件数は、小

かいが最も多く、次に、無視や仲間はずれとなっている。

各学校では教師一人一人が、いじめの実態を把握するため、子どもや保護者の訴えを丁寧にとともに、子どもの小さな変化を見逃さないように配慮している。いじめの事実を捉えた場合は、児童生徒への個別指導や保護者との話し合いなどを行い、早期解決に努めている。また、学級や部活動などで、被害児童生徒の周りにいる子どもに対して、具体的な指導をしている。

市の関わりと

市民の役割は何か



小松善雄議員

市民みんなで支える新たな森づくりは、

森林資源・環境を私たちの問題として見据え、その保全に努める必要があると考える。荒廃林の権利者把握や境界の実態調査、ソフト事業面について、各組織団体、特別地方

公共団体や森林組合の役割と県緑環境税に関し基金の対応もあるが、市行政の関わりと市民の果たす役割は何か。

遠藤市長

県は「県民みんなで支える新たな森づくり」の施策を策定し、その財源確保を目的に「やまがた緑環境税」を創設した。この事業は、県が直接行う森林整備事業と県

民参画による「やまがたの森づくり」活動への支援を行うソフト事業としている。

市行政の関わりは、県で森林整備事業が必要と選定した区域の森林所有者の調査等が出てくる。ソフト事業では、市が事業主体となり、市民参加による森づくりの体験を通じた環境学習事業等を実施することになり、事業費は全額交付金として受けられる。今後、県の補助要綱に沿って検討するが、多くの市民の参加をいただきたいと考えている。

団塊世代の

積極的な迎え入れを



後藤和信議員

団塊の世代

約680万人

の退職が始まる2007年だが、空き家、空き農地を活用して地域を活性化するため、新たな人生のスタートを切り、生まれ育った故郷での生活を希望する人たちが積極的に迎え入れられるべきであるがどう考えているか伺いたい。

ンケートでは、団塊の世代の約3割は東京圏に居住しており、特に東北地方出身者の約4割は、出身地方に戻りたいと回答している。

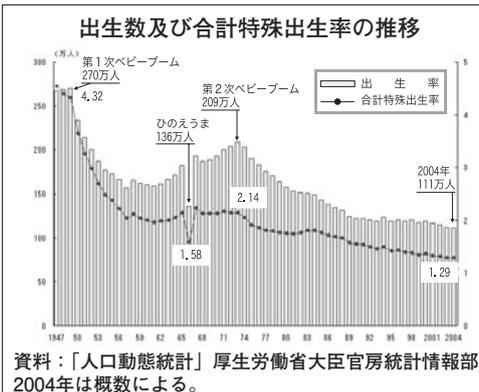
団塊の世代の退職後の動向に対応するため、県では団塊の世代の誘致、空き家対策の推進などを重点施策に掲げ、平成18年度は、県と市町村が協力し、情報を集約化した

遠藤市長

団塊の世代の人数は、本市で概ね3200人と

なっている。国土交通省の調査によると、本市の地域を特定して団塊の世代受け入れのモデル事業を推進したいとの意向もあるので、県と一体となって団塊の世代の受け入れを進めていきたい。

また、最近の傾向として、農家出身者が他産業からUターンして就農するケースも増えている。今後とも、国、県や農業委員会などと連携して、新規就農の相談と支援に一体的に取り組んでいきたい。



1 中整備構想を

早期に立てるべきでは



結城義巳議員

天童1中で
は、平成17年
8月20日の集

中豪雨により校舎東側の斜面が崩れ落ち、校舎まで押し寄せた斜面になっている。現在、県条例で「急傾斜地崩壊指定区域」にもなっている。天童

温泉原町線等の道路網や側溝も含めた、1中整備構想を早期に立てるべきではないか。

酒井教育長 1中、2中、3中の3つの中学校は、平成16年度に耐震化優先度調査を実施した結果、さらに詳細な耐震診断等が必要とされている。1中では集中豪雨で八幡山の斜面の土砂が学校敷地内に流

入する被害があったが、現在、土留め柵を設けるなどの対策を講じている。耐震対策を含め、施設の安全性を確保することが重要であり、第5次市

総合計画後期基本計画で、学校施設整備計画策定事業を重点プロジェクトとして位置づけ、3カ年実施計画の中で全体計画の検討を行っていく。

また、市道温泉原町線の整備については、幹線市道整備としての地域の要望もあるが、通学路も含めた全体的な計画の中で検討していきたい。

児童・生徒が安心できる

通学路の確保を



高橋 博議員

降雪があれ
ば、まず生活
道路を確保し

なければならぬが、初期除雪でしっかり幅員確保をしないと後々に問題が生じる。特に通学路は、児童・生徒が安心して通学できるように体制づくりが重要だが、歩道の除

雪は遅れている。子ども目の線に立った除雪と通学路の確保について伺いたい。

酒井教育長 通学路の除雪は、市道除雪計画により、降雪量が概ね10cm程度で、降雪の状況を勘案して出動することになっている。夜間から早朝にかけての降雪については、午前3時出動、午前7時

30分完了を目標にしている。豪雪時には、教育委員会としても通学路の除雪状況のパトロールや各学校との情報交換を密に行い、建設部門と連携を図りながら安全確保に努めてきた。

また、各学校でも教職員による通学路全般の点検・確認や児童・生徒の現地指導を実施し、PTAの協力もいただき安全確保に努めてきた。これからも、関係者の協力を得ながら、万全の体制で取り組んでいく。

バス運行の将来像と

意思決定過程は



佐藤正男議員

市営バス事
業には5年間
で約2億円を

投入した。今後工夫しだいで利用促進が見込めると判断しているのか、これまで以上の利用は見込めないから、利用者に不便をきたさない範囲で経費削減を目指そうとしているのか、市営バスの将来像とその意思決定過程について伺いたい。

遠藤市長 市営バスの利用については、これまで実態調査



交通弱者の移動手段を確保する市営バス

や市民アンケートの実施、市営バス市民懇談会等を開催し、広く意見を聞いたところ、多くの方々は、通院、通学、買い物などの生活路線の市営バスは廃止すべきでないとの意見であった。このため、停留所の増設や路線の一部変更、運行時刻等、利便性の向上を図るため、運輸支局の指導を受け見直しを行い、引き続き運行を継続したい。

将来像については、車社会における、今後のバス利用者への推移と、利用者並びに市民ニーズを十分把握しながら、車を運転できない方々の移動手段の確保を効率的に図っていくことが重要であり、行政の役割であると考えている。今後の市営バス事業については、ますます伸展する高齢化社会に向け、交通弱者の移動手段を確保する福祉目的を基本としながら、利用促進のPRに努めていきたい。

学童期のフッ素洗口の

早期導入を



山口桂子議員

健全な子ども

の育成の大切な要素として

「食べること」が重要視される中、本市では、永久歯にとって特に大切な学童期におけるむし歯予防対策として「フッ素洗口」は行われていない。できるだけ早期に導入

すべきと考えるが、どのようにするのかを伺いたい。

酒井教育長

フッ素洗口については、諸外国では半世紀以上前からむし歯予防に使用され、WHOでも使用を進めている。平成15年に定めた厚生労働省の「フッ化物洗口ガイドライン」では、その有効性と安全性が示されている。

本市では、乳幼児期の虫歯予防のため、フッ素塗布事業を実施しているが、小中学生に対する導入までは至っていない。県内では、山形市をはじめ7市3町で導入しているものの、まだまだ普及の段階である。平成18年8月に、天童・東村山郡歯科医師会役員が本市を訪れ、小学校におけるフッ素洗口についての要望があつたところである。今後、この要望を踏まえ、実施時期や方法など、導入に当たっての検討を進めていく。

医師数の基準に満たなければ収入が大幅減となるがどうか



武田達郎議員

病院には、

病床数などに

応じ医師数の

基準が定められているが、本年度の診療報酬改定で、この基準の70%に満たない場合、市立天童病院にとって大きな収入である入院基本料などが、大幅に減額されることに

なる。このことをどう認識しているのか伺いたい。

遠藤市長

市立天童病院の新しい病院において、確保すべき基準医師数は12名である。現在の医師数は、常勤医師と非常勤医師を合わせて10名なので、さらに2名の増員を図る必要がある。病院建設計画当初から、山形大学医学部に対

して幾度となく出向き、医師確保に向け、理解と協力をお願いしており、今後とも、山形大学医学部を最優先にして、粘り強く要請していく。

また、県が新設したドクターバンクや全国自治体病院協議会の医師求人支援センターなどへの医師募集記事掲載のほか、インターネットによる民間職業紹介事業者への依頼を考えている。基準医師数の確保を確実なものとしながら、医師不足の諸問題や懸念が生じないよう努めていく。

また、県が新設したドクターバンクや全国自治体病院協議会の医師求人支援センターなどへの医師募集記事掲載のほか、インターネットによる民間職業紹介事業者への依頼を考えている。基準医師数の確保を確実なものとしながら、医師不足の諸問題や懸念が生じないよう努めていく。

どう情報発信し どのような施策を図るのか



伊藤護國議員

本市の将来

ビジョンをどのように描いていくのか。遠藤市政3期12年の集大成として何を残すのか。そして、単独市で7万人の人口を目指すために何を目標として情報発信をし、どのような施策を図ろうとするのか伺いたい。

伊藤護國議員
本市の将来ビジョンをどのように描いていくのか。遠藤市政3期12年の集大成として何を残すのか。そして、単独市で7万人の人口を目指すために何を目標として情報発信をし、どのような施策を図ろうとするのか伺いたい。

づくりを進めるには、引き続き人口増加策を展開する必要があると考えている。今後とも、土地区画整理事業に継続的に取り組み、人口の着実な定着を図りたい。また、県住宅供給公社との連携による宅地分譲などを促進し、農村集落への人口定着を図っていく。

市民がいきいきと輝く地域づくり委員会活動をはじめ、本市を拠点とするバレーボール、サッカーなどのプロ・実業団チームの活躍など、市民と企業とが一体となった協働の取り組みについて、情報発信していく。また、生産量日本一を誇る将棋駒をはじめ、天童温泉や果物、特色ある美術館などの観光情報、さらに、災害が少なく交通の要衝にあるという好条件を生かし、企業誘致を進め、電気、機械工業などで技術の集積が進んでいることなど、県内外に向けて、積極的に情報発信していく。

また、県が新設したドクターバンクや全国自治体病院協議会の医師求人支援センターなどへの医師募集記事掲載のほか、インターネットによる民間職業紹介事業者への依頼を考えている。基準医師数の確保を確実なものとしながら、医師不足の諸問題や懸念が生じないよう努めていく。



舞鶴山から天童温泉街を望む

(注) DV→ドメスティックバイオレンスの略で、配偶者や恋人など親密な関係にある又はあった人から加えられる暴力をいう。

中学校区編成



中学校建設や学区編成を どう考えるか

森谷仙一郎議員

考えを伺いたい。

森谷仙一郎議員
築後40年を
迎えようと
している2
中、3中について、将来に向
けての建設や大規模な修繕計
画等の考え方を伺いたい。中
学校建設問題と大きく関連す
るが、中学校区再編を考える
時期を迎えていると思うが、

酒井教育長
学校施設の維持
管理については、長期的な利
用ができるよう、適宜修繕等を
行ってきた。しかし、1中、2
中、3中は、建設から40年近
く経過し、地震などに対して
安全性を高める必要が生じて
おり、今後、3カ年実施計画
の中で、財政計画との整合を

図りながら、耐震診断等を行
い、その結果を踏まえ、全体
計画の検討、整備計画の策定
へと取り組んでいきたい。
各学校では、地域に根ざし

た特色ある学校づくりが求め
られており、これまで各学校、
各地域が連携を取り合い地域
社会が営まれてきたものであ
り、通学区については、極め
て慎重に捉えなければならな
い。今後は、芳賀土地区画
整理事業などの進展を見なが
ら、教育振興協議会などの場
で論議を深めていきたい。

DV防止



防止策や被害者の 保護支援策は万全か

篠原みよ子議員

篠原みよ子議員
DV防止
法の改正によ
り、配偶者か
らの暴力の防止及び被害者の
保護に関する範囲が、身体的
暴力から精神的暴力まで拡大
された。さらに、家庭内で児
童に及ぼす影響も含めた保護
命令制度の拡充など、対応の強

化が図られているが、本市の
DV防止策並びに被害者の保
護支援策は万全か伺いたい。
遠藤市長
本市のDV防止対
策については、市民部児童家
庭課内に婦人相談員1名を
配置し、婦人相談所や県総合
支庁をはじめ、保育施設や学
校、警察署や民生児童委員等
と連携しながら相談業務にあ

たっている。また、去る8月
には、関係機関で構成する市
要保護児童対策地域協議会を
開催し、児童虐待やDV等の
防止、早期発見や対策等につ
いて情報交換をしている。
平成17年度のDV相談件数
は、15件あり、このうち一時
保護は1件あるが、中には婦
人相談所の支援により、自立
に歩みだしたケースもある。
今後とも、関係機関・団体と
も連携しながら、DVや児童
虐待の防止、保護、支援に適
切に対応していきたい。

鉾ノ町整備



観光拠点となるため 今後の取り組みは

赤塚幸一郎議員

赤塚幸一郎議員
鉾ノ町開発
について、4
つの開発目的
の達成状況と今後の見通しに
ついて、特に新たな観光拠点
となる施設整備との目的に対
しては未達成と考えるが、開
発期間残り2年間での取り
組み予定と目的達成のために
は、再度の計画修正や期間延
長も必要と思うが、市長の考
え方を伺いたい。

「本市の新たな観光拠点と
なる施設整備」については、
多目的広場や野外ステージ、
森林情報館などの施設が完成
し、平成16年には、道の駅「天
童温泉」が開業したことによ
り、計画された公共施設の整
備はほぼ完了した。
「天童温泉街と一体となつ
た商業地整備」と「温泉街の
活性化と良好な市街地形成」
については、天童温泉南地区
地区計画に沿って、住みやす
い快適な環境づくりと、観光
地としての魅力あるまちづく
りのため、今後とも民間資本
による商業、誘客施設の誘致
が必要と考えている。



美しい音色を楽しめる天童オルゴール博物館
(鉾ノ町地内)

必要とされている。

実施はゆがんだ競争になる 本市ではどう対応するのか



石垣昭一議員
文部科学省
は、平成19年
4月に全国一

斉学力テストの実施を予定している。実施要領では、学校の序列化につながらないよう、公表は各県単位にとどめるとしているが、重大なことは結果の公表により、ゆがんだ

得点獲得競争になることである。本市ではどう対応するのか伺いたい。

酒井教育長 全国一斉学力テストは、国が義務教育各段階の最終学年で実施するもので、その狙いは、教育の機会均等の達成水準が十分なものであるかを検証するものである。このテストの実施は、市

内小中学校の教育力の、より一層の向上に向けて意義深いものと捉えており、実施の方向で検討を進めている。

しかし、数値の安易な公表は、学校、児童生徒、保護者にいたずらに不安を与え、競争心のみを煽るものであると認識している。そのため、学力テストに関する数値はすべて非公表とし、結果については市教育委員研究所等で研究を進め、その後の指導方法の改善に生かしていきたいと考えている。

ごみ減量化

事業系ごみの 減量・資源化の方策の指導を



伊藤和子議員
天童市の総
収集処理量に
占める事業系

導し、減量・資源化計画書の提出を義務づけ、減量化を図るべきでは。

ごみの割合は35・9%と、全国平均32・8%を大きく上回っている。ごみの総量を減らすために事業系ごみの組成を分析して、具体的に減量・資源化の方策を事業者に行方指

遠藤市長 市内の事業所から排出される事業系一般廃棄物は、食品残渣などの燃やせるごみが主なものである。平成17年度は7739トで、平成15年度と比較して2年間で641ト減少している。

なお一層のごみの減量化を推進するため、今年度から新たに、10D・O・リサイクルプラン事業を展開して、食品廃棄物のごみ減量と、リサイクルの推進を図っている。この事業は、事業系ごみの減量施策として、全国に先駆けて実施しているもので、14の事業所に参加いただき、この半年で103トの食品廃棄物がリサイクルされ、ごみ減量化につながっている。



天童病院の免震工法を見学

天童病院新築の 免震工事を見学

新病院は、大規模な地震など災害時にも医療活動の拠点としての機能が維持できるように免震構造を採用する工事が進められていますが、1月12日、市議会では、免震工事の状況を見学しました。

議会のうごき

- 10月
 - 31日 建設常任委員会現地調査（東根市ほか）
- 11月
 - 1日 市長要請厚生常任委員協議会（市営バス、環境基本計画、住居表示について）
 - 2日 議会運営委員会
 - 7日 各派代表者会
県市議会議長会議会報研修会（議会だより編集委員/東根市）
 - 7～11日 天新会行政視察（石垣市ほか）
 - 10日 全国市議会議長会産業経済委員会（議長、局長）
 - 13日 県市議会議長会定期総会（正・副議長、局長/尾花沢）
 - 14日 市長要請総務常任委員協議会（人勤に伴う給与改定について）
 - 15日 北海道紋別市議会行政視察来市
県知事及び県議会議長に対する要望事項の実行運動（議長）
 - 15～16日 つばさ行政視察（東京ビッグサイト）
 - 17日 市長要請厚生常任委員協議会（市営バスについて）
 - 21日 各派代表者会
議会運営委員会
- 24日 議会だより編集委員会（研修会のまとめ）
- 29日 議会運営委員会
- 30日 東根市外2市1町共立衛生組合
全員協議会
東根市外2市1町共立衛生組合
第2回定例会
- 12月
 - 4日 文教経済常任委員協議会（児童生徒の学校生活について）
議会運営委員会
 - 6～21日 第5回市議会（12月定例会）
 - 6日 全員協議会
 - 6日 議会だより編集委員会
 - 14日 市長要請総務常任委員協議会（国民保護計画について）
 - 20日 議会運営委員会
- 1月
 - 10日 議会だより編集委員会
 - 12日 天童病院免震工事見学会
厚生常任委員会現地調査（ひまわり園ほか）
 - 18日 議会運営委員会
 - 22日 議会だより編集委員会
 - 23日 つばさ行政視察（福島県泉崎村）

総括質疑

総括質疑は、12月13日に行われ、各常任委員会から9人の議員が、一般議案、予算議案に対する質疑を行いました。質疑の主な内容は、次のとおりです。

電子申請システム

申請・届出でできる内容と周知徹底の方法は

伊藤（和）議員 電子申請システムにより、申請・届出でできる内容について伺いたい。また、施行日を平成19年3月1日とした理由は。

また、それらの市民への周知徹底をどう図るのか。

秋葉総務部長 申請・届出でできる内容は、県で100業務、市町村で100業務を予定している。具体的に検討中のも



県下一斉に導入される電子申請システム

ていきたい。

施行日を平成19年3月1日とした理由は、本稼動を4月1日に予定しており、この間システムに慣れてもらう試験的な運転として不具合等を検証していくためである。

また、天童市にはない業務等もあるため、担当課と協議し、ホームページに掲載し、周知徹底を図っていきたい。

電子申請システム

高齢者への対応とセキュリティ体制について

高橋議員 中高年者のインターネット利用者数はどのくらいか。また、市の重要情報流出等が心配されるが、セキュリティ体制がどう確立されるのか伺いたい。

秋葉総務部長 IT社会を迎えるに当たり、地域ごとにコンピュータ講座を開催してきた。今後も高齢者の方がイ

ンターネットを利用したいという希望があれば、積極的に講師を派遣して利用促進に努めていきたい。

セキュリティ対策としては、今回の通信方法においてデータが暗号化されるため、他人が傍受してもわからないようなシステムになっている。また、電子申請システ

下水道特別会

一般会計からの繰入金を減額し市債を発行する理由は

赤塚議員 都市計画公共下水道特別会計補正予算の内容について、一般会計からの繰入金

金を減額してそれに見合う金額を市債発行との内容だが、巨額の借金を抱えるこの特別会計で市債を増額補正しなければならぬ具体的な必要性や緊急性について伺いたい。

池田建設部長 従来、公債費に充当される一般会計からの繰入金については、地方交付税措置が講じられてきた。

しかし、新しい財政措置が講じられ、交付税が減額されることとなったため、これまでの財政措置との格差分について、特別措置として下水道事業債が認められることになった。この起債の借り入れ

ムは、県単独の閉鎖的な圏域ネットワークを利用しているため、外部からの通信が割り込めないようになってい

添付された文書等についてはウィルスチェックをしてから開くようにする予定であり、様々なセキュリティ対策を講じていきたい。

可能額が平成17年度の決算後に確定するため、今回の補正で対応することとなった。

なお、この特別措置分についても、後年度に交付税措置が行われることになってい

質疑者一覧

- ★建設常任委員会
石垣昭一、水戸 諭
- ★総務常任委員会
木村竹虎
- ★厚生常任委員会
結城義巳、篠原みえ子
- ★文教経済常任委員会
伊藤和子、森谷仙一郎
- ★文政常任委員会
高橋 博、赤塚幸一郎

さくらんぼ補助金

さくらんぼ生産拡大緊急対策 事業の補助金の減額について

水戸（論）議員 無加温ハウス

スに對しての県からの補助金であるが、減額の理由と、事業内容と市としての取り組みの経過は、併せて、本市の加温、無加温ハウスの栽培農家面積及び現状について伺いたい。

国井経済部長 補助事業の内容は、既に設置している雨よけハウスを改造し、無加温ハウスに整備した場合の施設に對する補助で、10アール当たり200万円を限度とし



ハウスによるさくらんぼ栽培

て、2分の1を補助する事業であり、県が平成17、18年度の2カ年実施している。

市としては、受益面積約60アール、補助金額で

1200万円の事業を予定していたが、認定要件である3戸以上の農家で組織する団体の設立にまでは至らなかったため、減額補正することになった。

現在の市内の加温ハウスは376アール、無加温ハウスは95アールで、実施している農家は28戸である。

後期高齢者医療広域連合

議員選出の仕組みは

石垣議員 広域連合議員の選挙の方法について、第8条で推薦があったものを候補者とするところがあるが、誰が推薦をして、誰が投票人になるのか。また、この方式で各構成自治体からの公正、公平な議員の選出をどう確保するか伺いたい。

阿部市民部長 議員選出の仕組みは、県内を4つの選挙区に区分し、市町村長から4人、議員から12人の合計16人で構成することになっている。その選挙の方法は、市町村長からの候補者は市長会及び町村

長会から、議員からは市議会及び町村議会議長会から推薦を受けた者が候補者となる。加えて、市町村長は、選挙区ごとに4分の1以上の市町村長の推薦を受けた者、議員は、選挙区ごとの議員定数の20分の1以上の議員の推薦を受けた者も、候補者になることができる。候補者が選挙区単位で議員定数以下なら、無投票当選となり、定数を超えれば選挙を行うこととなり、選挙区内の全市町村議会において、議員が候補者に投票し、得票数の多い順から当選者と

なる。

また、広域連合議会が組織されるため、市長会、議長会からの意見も十分反映されるものと考えている。

後期高齢者医療広域連合

議員の定数と地域間の 較差について

結城議員 広域連合議員の定数が16人になっているが、県内35全市町村が加入することとなるものであり少な過ぎないか。また、高齢者人口の構成割合や所得水準の高低により、広域連合の間で不公平にならないように、財政調整が図られるのか。山形県内高齢者と東京都の高齢者では所得較差が大きすぎる。

阿部市民部長 昨今の行政のスリム化、行財政改革推進という潮流の中で、各市町村議会でも、議員定数を減らしているところが多く、広域連合議会のみ流れに抗して多数の議員定数とすることは難点があるなど、諸般の事情を総

後期高齢者医療広域連合
平成20年4月から創設される後期高齢者医療制度（75歳以上の高齢者を対象とした医療制度）を運営するために設けられる。
都道府県単位で組織され全市町村が加入する。

合的に勘案し16人になったものである。広域連合議会議員は、県全体の代表であると同時に、各選挙区の代表でもあるので、選挙区内の市町村間で十分連携することにより、未選出市町村の意見も十分反映されるものと考えている。また、大都市と地方における保険料等の格差の問題は、国民全体の給付と負担の公平が図られ、医療に対する安心と信頼の確保や質の高い医療サービスが提供される医療制度の確立が図られるよう、全市町村長会や国民健康保険中央会、国保連合会等を通して要望していくべきものと考えている。

一般会計負担金の 内訳と内容は

木村議員 負担金の内訳と内容はどうなっているのか。また、内容によっては本来公営企業法の下、一般財源からの繰入ではなく、企業会計から支出すべきではないのか。今後同ケースの場合どのように対応していくのか伺いたい。

阿部市民部長 今回の補正予算の内容は、病院事業会計に対する一般会計からの負担金



新たにオーダリングシステムが導入される天童病院

として、3244万7000円を計上するものである。これは医師1名、看護師1名の退職に相当する負担金である。

地方公営企業法では、基本的に企業会計から支出すべ

きものだが、今回は年度途中の退職の申し出であること、医療制度改正により診療報酬や薬価が下がっていることなど、厳しい経営環境等を総合的に勘案し、一般会計から支出することになった。今後については、天童病院の経営状況をみながら、適切に対応していくべきものと考えている。

障害者自立支援法

利用者や施設への影響と 今後の負担軽減策について

篠原議員 障害者自立支援法が10月1日より完全実施され、身体並びに知的障害者福祉扶助費、併せて4171万2000円の大減額であるが、この算出基準及び利用者や施設への影響と現状把握について、また、市独自の負担軽減策や国の見直し計画について伺いたい。

阿部市民部長 減額の算出基準は、法の施行により、サービスを受ける利用者の負担が

これまでの応能負担から、原則、応益負担に変更されたことや、これまで公費として負担していた食費と光熱水費などが主な理由である。

また、利用者のサービス量について、現在のところそれほど変化がみられないため、大きな影響は出ていないと認識している。なお、年度途中でもあり、今後は施設等の運営状況を的確に把握していき

たい。
負担軽減策については、現在、国において利用者負担の

見直しを検討する動きがあるので、この状況を見守っていききたい。

地区画 区画整理

鉾ノ町における工事への 影響はないか

森谷議員 鉾ノ町地区画整理事業特別会計から老野森土地区画整理特別会計へ事業予算を組み替え補正する理由は。また、鉾ノ町において予定している工事に影響はないのかを伺いたい。

池田建設部長 今回の補正は平成18年度に計画していた鉾ノ町地区画整理の一部について、関係地権者の都合により建物等の移転に時間を要することから、当該箇所の建物等移転及び道路工事を後年次に先送りすることとなったためである。そのため国から承認を得て、国庫補助事業を鉾ノ町から老野森の区画整理事業に振り替えをすることになったものである。

なお、鉾ノ町の工事は、関係地権者の理解を得て、平成20年度完成に向けて対応していききたい。



平成20年度完成予定の鉾ノ町地区画整理事業

議会では

⑥

今回は
共立衛生処理組合の報告です

組合市町負担金が確定

11月30日、東根市外2市1町共立衛生処理組合議会が東根市議場で開かれ、平成18年度の組合市町負担金が確定した。議会の報告と負担金の算定について特集する。

■議案は次の3件

議第8号 補正予算(第1号)
ボイラー室の石綿対策事業費390万円を起債し、同額を証紙収入から減額する組替え補正。

議第9号 補正予算(第2号)
歳入は、し尿処理量減に伴う処理手数料の減額、アルミ缶など財産売却収入の増額など。歳出は焼却棟のクレーン修理や原の内最終処分場の終了届にかかる調査委託料、凍上災害認定による道路整備の組合負担金などで、742万9000円の補正となっている。

議第10号 組合市町負担金の確定、は平等割・処理量割額から証紙収入を差し引き、実質負担額を確定したもの。

負担金の算定は？

共立衛生処理組合の費用は構成市町(天童市・東根市・村山市・河北町)であらかじめ決められたルールに従って算定される。

各市町に平等割と処理量割で負担金を算定し、指定袋や粗大ごみの証紙収入を差し引いて確定される。(下段参照)

平等割

◎均等割
議会費や総務管理費(一部)などを構成4市町で平等に負担するもの。

◎施設規模割
実質償還額を各施設ごとに構成市町で負担するもの。

共立衛生処理組合とは…

天童市・東根市・村山市・河北町では、ごみとし尿の収集・処理を共同で行っている。管理者は東根市長、他の市長、町長は副管理者となる。

各市町の議会からそれぞれ3人の議員(天童市から、高橋博、山崎諭、赤塚幸一郎の3氏)を選出し、共立衛生処理組合議会を構成している。年に3回の定例議会が開催される。

処理量割

◎し尿処理事業割
し尿処理にかかった費用から手数料収入を引き、構成市町の処理率で負担するもの。

◎ごみ処理事業割
ごみ処理にかかった費用に構成市町の処理率を掛け、直接搬入した手数料収入を差し引いたもの。

その他の報告

◆リサイクルセンター建設
今年度用地を買収し、平成19・20年度で建設工事、平成21年4月オープン予定。
容器包装、プラスチック類がリサイクルされる。

◆廃食用油で燃料生成
使用済の食用油を回収、BDF(バイオ・ディーゼル・フューエル・軽油代替燃料)を生成し、バキュームカーの燃料として再利用されている。

天童市では、平成14年度から「天まで届け、ごみ減量の10DOプラン」に取り組み、平成17年度のごみ収集量は、対前年比2%減となった。
市民一人ひとりの心がけの成果でもある。ごみ減量化に一層取り組みましょう。



■平成18年度組合市町負担金

(単位：円)

区分	平等割額		処理量割額		合計	証紙収入額	実質負担額 千円以下 端数調整
	均等割	施設規模割	し尿処理事業割	ごみ処理事業割			
天童市	7,992,750	208,512,796	14,608,405	191,055,530	422,169,481	69,981,086	352,188,000
東根市	7,992,750	123,045,615	24,178,365	137,034,237	292,250,967	50,287,417	241,964,000
村山市	7,992,750	77,178,897	12,013,173	79,469,663	176,654,483	29,952,567	146,702,000
河北町	7,992,750	59,402,692	9,765,586	64,362,041	141,523,069	24,012,930	117,510,000
計	31,971,000	468,140,000	60,565,529	471,921,471	1,032,598,000	174,234,000	858,364,000

予算特別委員会

18年度一般会計予算

2億455万8千円を
減額補正



順調に工事の進む学校給食センター

障害者自立支援法の完全実施に伴う事業の精査による委託料の減額や後期高齢者医療制度に対応するため、の広域連合設立準備委員会負担金の計上、児童病院事業会計負担金の計上、学校給食センター整備工事の精査による工事費の減額など、合わせて2億455万8000円を減額する一般会計補正予算と各特別会計補正予算7件と企業会計補正予算2件は、予算特別委員会に付託され、各分科会で審査された後、本会議において原案のとおり可決されました。

各分科会の審査の主なものは次のとおりです。

援法の完全実施は、これまでのサービスの利用実態を的確に判断する期間がないままに施行された状況にあり、制度と実際のサービスがうまく連動できていない点が見受けられる。本市での負担者等に対する軽減策については、それぞれのケースごとに分析して、どこに支援が必要か見極めていきたい。

厚生分科会

障害者自立支援に

市独自の支援策は

委員 障害者自立支援法が完全実施されたが、今回の制度変更と併せて、市として独自の支援策があつてしかるべきでないか。

健康福祉課長 障害者自立支

文教経済分科会

一般コミュニティ

助成事業の内容は

委員 今回の一般コミュニティ助成事業の内容と、助成事業募集の方法は。

生涯学習課長 今回の助成事業は、乱川町内会における子供みこし購入事業の助成決定によるものである。

一般コミュニティ助成事業は、財団法人自治総合センターからの助成で、毎年県内でも1〜2カ所しか助成を受けられないのに対し、本市は今回の助成を含めて3回連続

一般会計補正予算(第3号)のあらまし

補正額	△2億455万8千円
予算総額	188億3505万9千円

◆主な内容

(単位：千円)

庁舎施設整備費	7,000
国民健康保険特別会計繰出金	△4,777
後期高齢者医療広域連合準備委員会負担金	2,400
身体障害者福祉扶助費	△15,145
精神障害者ホームヘルプ事業委託料	△1,119
知的障害者福祉扶助費	△26,567
児童病院事業会計負担金	32,447
さくらんぼ生産拡大緊急対策事業費補助金	△12,000
除雪業務委託料	55,000
老野森土地区画整理事業特別会計繰出金	29,752
楯ノ町土地区画整理事業特別会計繰出金	△34,250
都市計画公共下水道事業特別会計繰出金	△84,992
地域づくり促進対策費	2,500
学校給食事業	2,654
学校給食センター移転新築事業	△72,394

の助成となった。事業の募集については、地元負担もあり、申請して必ず助成を受けられるものでもないため、申請の時期になると各市立公民館事務長を通して調査を行っている。



建設分科会

鍬ノ町土地地区画整理事業
道路整備工事費について

委員 工事の内容は。

都市計画課長 これまで市道温泉原町線に山交バスが乗り入れしていたが、地元から路線変更の要望があり、山交と協議の結果、10月1日から都市計画道路北目天童線に変更した。既存バス停の撤去と、それに伴う道路整備を行うものである。

総務分科会

庁舎施設整備費の内容は

委員 庁舎施設整備費について、当初見込みとの変更点は。

財政課長 アスベスト関連の電気施設の工事において、高圧の電気に直接触れる箇所があり屋外に設置することになった。また、安全性を確保するため電気室内部の施設点検を行ったが、建築以後30年以上改修がされていないといったことなどから追加工事が必要になった。

助役の選任に同意

平成18年12月7日で任期満了となる現助役の武田貞夫氏（68歳、乱川）を再任することに同意しました。

天童市情報公開・個人情報保護審査会委員3氏に同意

平成18年12月31日で任期満了となる情報公開・個人情報保護審査会委員について、下記の3氏を委嘱することに同意しました。

再任

高山克英氏
(山形市)

寿田静江氏
(一日町)

新任

合田篤子氏
(山形市)

討論

12月21日の本会議において次の2件について討論がありました。

▼議第28号平成18年度天童市一般会計補正予算Ⅱ賛成多数で可決

《反対》

障害者自立支援法は、障がい者と事業所に重い負担を押し付けている。障がい者に原則1割の応益負担としたため、施設の利用を控える方や利用料を払えない方が出てきている現状にある。国に応益負担を見直させる必要があるが、現時点で、何の施策も講ぜず減額補正したことに反対である。

また、後期高齢者医療広域連合準備委員会負担金は、75歳以上の後期高齢者だけを被保険者にした医療制度を立ち上げるためのもので、医療給付費が増えれば後期高齢者の保険料の値上げになる仕組みで受診抑制につながり、国の

医療費抑制政策に他ならない。市民のいのちと健康を守る立場から反対する。

《賛成》

障害者自立支援法については、利用者の負担軽減策やサービスマネジメントに対する経過措置が講じられるなど、予算管理上適切である。後期高齢者医療制度準備委員会経費については、準備事務局の必要経費を各市町村で負担しあうもので、準備状況から見ても適切であると思われる。その他の内容についても妥当なものと考え、賛成する。

▼道路特定財源の堅持に関する意見書の提出についてⅡ賛成多数で可決

《反対》

道路は、市民生活や経済・社会活動を支える最も基礎的な社会資本であり、市民にとって必要な道路整備は急がなければならない。

しかし、現在の道路特定財源は、使い道が道路整備に限定されることから、税収が増

えても不要な道路整備に充てられており、見直しを求める世論が高まっている。

今回の意見書案は、地域住民の願いである生活道路整備を重点としたものになっていないことから、反対する。

《賛成》

国の道路特定財源について「道路特定財源の見直しに関する具体策」が閣議決定された。今後予定されている法改正の際には、交付税特別会計等を通して地方道整備に充当される部分が焦点になると思われる。

本市をはじめとする地方都市においては、まだまだ道路整備が必要であり、安定した財源が不可欠である。

「地方の道路特定財源」はもとより、「国の道路特定財源」の地方道整備充当分を堅持することにより、真に必要な道路整備の実現が図られ、市民生活の利便性向上につながる。ことから、意見書提出に賛成する。

市民の声

私は、山形市議会を傍聴した事がありますけど、天童市に住んで三十六年になります。が、天童市議会の傍聴は初めてであります。

政治への関心はなく、たまに友人の誘いで好奇心だけで参加させていただきまし

た。私が傍聴席に着いたときには、すでに質問に入っており子供の少子化の問題、学校の耐震構造の問題、DV防止についての質問でありました。

各議員の熱弁に答える市長や担当市職員の様子を拝見させていただき、改めて市政の流れが少しわかってきたようです。

今までは、外見だけを見てきましたが、これからは、何か傍聴をさせていただき、今一番問題になっている高齢化、子供の育成、DV防止について、市政の考えを勉強し

現在やっている活動に役立たいと思います。

私は、この度初めての傍聴であり、又時間もなく短い時間の傍聴でありましたが、傍聴者の少ないのに驚きました。

議員の皆さんは、一般市民の意見、要望を聞き発言をしているのでしようが、もともと一人ひとりに気軽に声をかけ

議会を傍聴して

高橋正子（干布）

し、多くの市民に傍聴していただき、もっと市政に関心を持ってもらい、安心して住める天童市になっていただきたいと思ひます。

今の日本は、頭が崩れていて土台も腐れている、これも我々皆んなの責任であります。議員の皆様方、一部だけの市民の声に耳を傾けず、幅広く下の方にも耳を傾けていただき、市政を正していただきたいと思ひます。「何事も作ることは基礎・土台をしつかりと」最後に、議員の皆様のご活躍に感謝申し上げます。

請願・陳情の結果

今定例会で審議された請願・陳情は3件で、所管常任委員会で審査したあと、結果は次のようになりました。

件名	提出者	付託委員会	結果
大清水橋（市道乱川矢野目線）の早期整備に関する請願	大清水町内会 会長 黄木孝一	建設	継続審査
地域と中小企業の金融環境の改善と金融の円滑化を求める意見書採択についての請願	山形県中小企業家同友会 筆頭代表理事 阿部秀俊	文教経済	継続審査
「品目横断的経営安定対策」と米価下落対策にかかわる請願	天童市農民組合 代表 太田正良	文教経済	継続審査

3月定例議会の日程(予定)

- 3月2日（金）開会
- 7日（水）一般質問
- 8日（木）一般質問
- 9日（金）総括質疑
- 12日（月）各常任委員会
- 13日（火）各常任委員会
- 14日（水）各常任委員会
- 22日（木）閉会

※請願締め切りは2月22日（木）正午までの予定です。
※なお、日程は変更になる場合があります。詳しくは議会事務局までお問い合わせください。

編集後記

● 議会だより編集委員会は議会の様子を「正確に」「わかりやすく」「読みやすく」伝える紙面にするため、また、一人でも多くのみなさんに読んでいただく紙面にするため、日々努力していきます。

● 特に今回から、多くのみなさんに議会傍聴においていただけるよう、次回の定例議会日程（予定）を掲載することになりました。是非、議会傍聴の予定を組んでいただき、議会に足を運んでくださるようお願いいたします。

● より親しまれる議会だよりにするためご意見・ご要望をお聞かせください。

《議会だより編集委員会》

- 委員長 伊藤 和子
- 委員長 篠原みゑ子
- 委員長 小澤 精
- 委員長 長岡 繁
- 委員 佐藤正男
- 委員 木村竹虎
- 委員 山口桂子

